

ちくしのクリップ

問 秘書広報課

10/15

明かりが五郎山を照らす

五郎山灯ろうまつり

筑紫南コミュニティ運営協議会次世代育成部会が立ち上げた「五郎山活性化プロジェクト」。コロナ禍の中でみんなを元気にしたい、そして千年続くまつりに育てたい、という思いから準備期間を経て、まつり初開催となりました。児童や有志でつくった約1,500個の紙灯ろうや竹灯ろうが五郎山公園に設置され、訪れた多くの人々が、幻想的な光景を楽しんでいました。



筑紫東小・原田小の児童が描いた紙灯ろうが夜道に浮かびました

10/15

買い物を支援して100回目!

買援隊、100回目開催

「行かじゃこて!地域の店!!買援隊」は、筑紫野市商工会が主催している買い物支援事業です。毎月15日に桜台駅西口でさまざまな物品の出店販売をしています。平成25年10月から始まったこの事業は、今回で100回目を迎えました。当日は、16店舗が軒を連ね、スタンプラリーやマジックショーなどのイベントも行われました。



食品や雑貨、化粧品などさまざまなものが販売されています

10/17

奉納の舞 伝統の舞

市指定無形民族文化財「山家岩戸神楽」

毎年10月17日に山家宝満宮で奉納される山家岩戸神楽は、室町時代から始まったとされ、現在は山家岩戸神楽保存会の皆さんによって継承されています。

今年は、小雨の降る中に始まりましたが、演目が進むにつれて雨は止み、静まり返る山家宝満宮の中で奉納される舞は、歴史を感じ、より神秘さが増したものとなりました。



「荒振神」に抱かれた子は健やかに育つと言われていました

10/15

あのころのにぎわいを再び

土曜夜市が復活

市制施行50周年記念として、二日市中央通り商店街で約15年ぶりとなる土曜夜市がほっと二日市や商店街、地域の皆さんの尽力により開催されました。クラウドファンディングなどで支援を仰ぎ、復活を遂げた土曜夜市は、多くの露店が出て、ステージでは歌や踊りなどさまざまな出し物が披露され、昔の土曜夜市に勝るとも劣らない、大きなにぎわいを見せました。



二日市中央通り商店街が大きくにぎわいました

ちくしのクリップ

問 秘書広報課

11/3

みかさの未来「絆・夢・希望」

みかさ未来フェスタ2022

市制施行50周年を祝う御笠まちづくり協議会主催の未来フェスタが、御笠運動広場で開催されました。ステージイベントのほか、地元産の米・野菜などの軽トラ市、手作り雑貨や飲食品の販売などがあり、また阿志岐小学校では熱気球体験が行われ、上空から御笠の素晴らしい景観を楽しみました。御笠地域の活気を感じ、魅力を堪能した一日となりました。



秋晴れの空の下、多くの人が集まり、御笠を堪能しました

11/3

人と人との「絆」が深まった

山口コミュニティマルシェ

山口コミュニティマルシェが野外のイベントとしては3年ぶりに山口コミュニティセンターで開催されました。バザーでは地元農産の直売やキッチンカーによる食品の販売などが行われ、ステージでは天拝中学校吹奏楽部の演奏や銭太鼓などが披露されました。婦人会有志によるお米さん音頭では、会場からも声援が飛び交い、地元の温かさを感じるステージとなりました。



最後の餅まきで会場は一層にぎわいました

10/31-
11/4

「食」を通して 児童生徒と交流を深める

市長給食訪問

市長・教育委員が小中学校を訪問し、児童生徒と交流しながら給食を共にする、給食訪問。今年は阿志岐小、筑紫東小、筑山中、筑紫野中を市制施行50周年記念給食の期間に訪問し、黙食の後、懇談を行いました。生徒は懇談を通して「私たちのために教育環境を整えてくださっていることを実感して、これからも勉強を頑張りたいと思いました」と話していました。



食事の後、生徒からの質問に答える藤田市長

11/1

寄付により紺綬褒章を受章

工藤祐紀さん紺綬褒章伝達式

市内在住の工藤 祐紀さんに紺綬褒章が授与され、この日、市役所において伝達式を行いました。今回の受章は、市役所や関連施設の入り口に設置している非接触型の体温計のほか、市への寄付によるものです。工藤さんは、「筑紫野市に転入して市役所の方などにお世話になり、何かお返しできたらと思いました。受章は大変うれしく思います」と話していました。



上野教育長(左)から伝達を行いました

問 問い合わせ先
日 日時・期間
場 場所
対 対象
内 内容
定 定員
料 料金
持 持参物
締 締切
申 申し込み先
ID 市ホームページの記事ID